

東京都レンジャーNews

このニュースは東京都レンジャーの活動や、自然の情報などを皆様へお伝えするものです。

山岳事故の原因 ナンバーワンは道迷い

東京都レンジャーの集計によると、平成28年1月から12月までの1年間に青梅警察署管内の奥多摩地域で起きた山岳事故は58件あった。その内、道迷いが原因とされたものが30件、全体の50%以上に登った。



何故道迷いになったのだろう。検証するとまず登山技術の不足が考えられる。必ず登山地図を携行し、常に自分が何処を歩いているか確認しながら歩くことが必要だと都レンジャーは警鐘を鳴らす。道迷いの直接の要因としては、登山道以外に付けられたピンクテープ等の目印に誘導される、落ち葉や積雪によって登山道が分からなくなる、登山道に交差する作業道やけもの道に入り込むなどが挙げられる。

昨年の月別事故発生件数では、5月が最も多い9件。新緑の奥多摩を正しい技術で安全に楽しく登山してほしいと東京都レンジャーは呼びかけている。

解説

ピンクテープは 何のため?

登山道を歩くと、あちらこちらで見かけるピンク色のテープ。暗い山内でも非常に目立つ色合いのため、さまざまな分野で一気に普及した感がある。問題は、このピンクテープを登山道の目印と信じこんで

いる利用者がいることだ。山内に付けられたピンクテープは林業や測量など他の重要な用途にも数多く使われており、登山道の目印とは限らない。登山道を見失った時は、わかる地点まで引き返す、地図とコンパスで現在位置を確認するなど、基本に忠実であることが大切である。



季節のトピックス

シロヤシオ

シロヤシオ
5月になると大岳山周辺では純白のツツジ、シロヤシオが見ごろになります。植生保護のため登山道から外れないようにして観察をお願いします。

凄惨！高尾山トイレで 起きた衝撃的な出来事

現在高尾山周辺のトイレでは多くの問題が起こっており、現場のレンジャーは毎日のようにその処理に追われている（写真左）
汲み取り式トイレの配管に異物が詰まる、水循環型のト

イレでは、大量に流された紙の処理が追い付かず、水が流せなくなるなどである。見た目は普段使用している家庭用のトイレと似ているが、山のトイレはその立地条件により、様々な方法で汚物



登山道や自然の最新情報は

親切ていねいな東京都の

ビジターセンターへ

※詳細は右ページ下へ

を処理している。そのため、使用済みの紙を分別する必要がある場合が多いが、家での習慣で使用済みの紙を流してしまう利用者が多い。東京都レンジャーは、トイレごとに書かれている使用方法を参考に、正しい使い方やマナーへの協力を呼びかけている。

【川柳コーナー】

山トイレ

ちゃんど入れてね

ゴミ箱へ

（東京都・トイレレンジャー）

【選者のことば】

作者の偽らざる心境が現れていますね。また「トイレ」と「と入れ」をかけてあるところが見事です。